グローバル・サプライチェーンと国際貿易

横田　一彦 教授

1)　担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

グローバル・サプライチェーンと国際貿易の理論と実証研究。現在の研究テーマは、貿易自由化や通商政策がサプライチェーンに与える影響の理論的・実証的解明、経済制裁がサプライチェーンを通じて制裁国と被制裁国の所得格差・賃金構造に与える影響の分析などである。

2)　指導方針

1 年目は、グローバル・サプライチェーンと国際貿易の分野で、参加学生が関心を持つ重要な論文を読むために必要な経済理論と計量経済学を講義する。あわせて、付加価値貿易や企業間取引ネットワークのデータの扱い方も学ぶ。2 年目は修士論文のテーマに関わる理論と実証研究を、基本的なものから最新のものまで読み、修士論文を完成させる。

3)　学生に対する要望・その他

本研究指導の目的の一つは、国際貿易とサプライチェーンの理論的基礎と実証分析の手法を身につけ、自らの研究に活用できるようになることである。参加学生はこれらの勉強に積極的に取り組んでほしい。